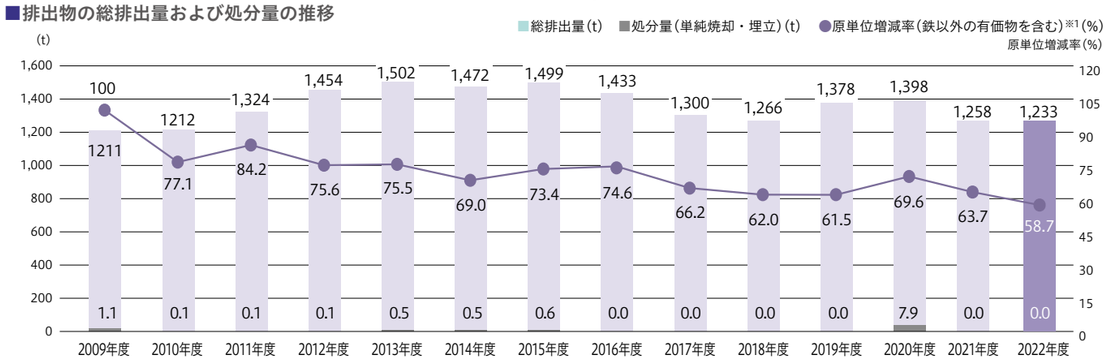
Strengthening Zero Emissions

ゼロエミッションの強化

3Rの取り組みがScope3の削減に貢献

廃棄物の削減は、Scope3の削減にも貢献します。当社では、2022年度に「2050年カーボンニュートラルの実現」を宣言し、これを進めていく上で、排出物削減活動は重要な取り組みとなります。
当社では、1995年の環境方針策定時から「排出物削減」を入れて、中長期的に目標を定めて取り組み、成果を出してきました。
今後も、3R活動（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、Scope3の削減に貢献していきます。

■排出物の総排出量および処分量の推移



※1. 原単位増減率とは2009年度の原単位を基準として各年度の原単位に対する増減率を示しており、その原単位は排出物量÷生産高で算出しています。
（パーセンテージが低いほど、排出物を出さない努力をしていることになります）

その他の排出物削減活動

当社の排出物のうち 70 ～ 80%はその他排出物（鉄屑、銅屑、ステンレス屑などの金属屑）となるため、鈑金部門では歩留まり改善をテーマに取り組んでいます。
金属屑は売却できますが、歩留まり改善に取り組むことで原材料の削減につながり、環境負荷低減に努めていきます。

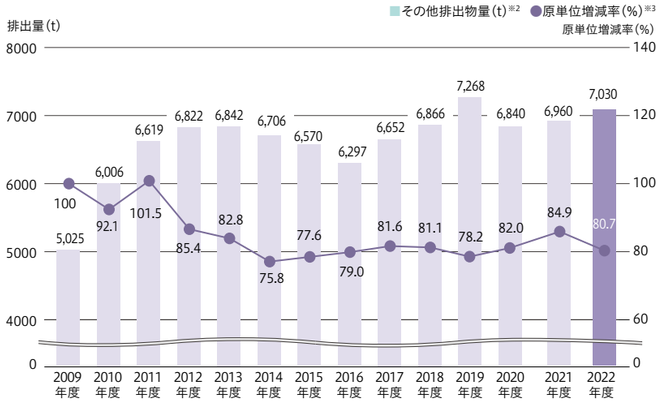
リデュース活動　鉄材排出量の削減

菊川工場

配電盤商品部では、配電盤の製作時に自立キャビネットに組み替え、製作する場合があります。その際、自立キャビネットに付属していた鉄製基板が不要となるため、機器商品部で検品の上、良品を再利用することで排出量を減らすことができました。

効果　**81.3t** /年　削減

■その他排出物排出状況の推移



※2. その他排出物とは、「鉄屑」「銅屑」「SUS屑」「アルミ屑」などを示しています。
※3. 原単位はその他排出物量÷生産量を示しており、原単位増減率は2009年度を基準として増減率を示しています。（パーセンテージが低いほど、排出物を出さない努力をしていることになります）

リユース活動　購入品用パレット材質の変更による削減

掛川工場

掛川工場ではグループ企業の日東工業有限公司より毎月部材を購入していますが、輸送用のパレットを木パレットから段ボールパレットに変更しました。これにより、木パレットは1枚20kgだったものが、段ボールパレットでは1枚8.5kgとなり、使用済パレットの廃棄量を削減出来ました。木パレットの処分では産業廃棄物として処理し木材チップへリサイクルしていましたが、段ボールパレットであれば処分後も段ボールとしてリユースできることから、より環境に優しい材料とすることができました。

木パレット

段ボールパレット

効果
3,852Kg
/年 削減

リサイクル活動　産業廃棄物処分場の視察

全社

不法投棄が社会問題化している現在、産業廃棄物処分業および運搬業の取引先と安心した信頼関係を築くことが重要です。当社では社内認定を受けた従業員が産業廃棄物処分場を定期的に訪問し、所定のチェックシートに従って処分状況・マニフェスト管理状況・5S管理状況などを確認、評価しています。当社が引き渡した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認するとともに、環境負荷低減に努めている取引先とのお付き合いを深めています。

視察風景

リユース活動　端材カートンシート廃棄削減

花巻工場

花巻工場では、特注製品の梱包も、定尺材からカットして製作しており、端材カートンが多くでます。その端材カートンを利用して、部品依頼用の小箱や、塗装上がりの製品輸送用のパット、コーナーパッドに再利用しました。

カートンカッター

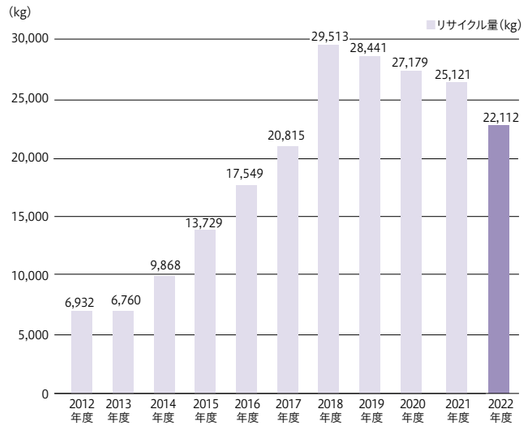
端材カートン

効果
558Kg
/年 削減

リサイクル活動　営業所から出る紙のリサイクル

営業所から排出されるごみの大半はダンボール、コピー用紙などの紙屑です。しかし、その多くはリサイクルされることなく可燃ごみとして廃棄されていました。工場では2003年にゼロエミッション宣言をしており、環境に優しい処理を進めていることから、営業所の紙屑についても2013年より古紙専門処理業者への委託に切り替えを進めており、2019年度には、全ての営業所を完了しました。この切り替えにより、以下の2点に貢献しています。

- **可燃ごみとしての焼却処分の削減**
  → CO_2排出抑制
- **紙の原料としてリサイクル**
  →森林の保護

営業所の紙屑

■営業所から出る紙のリサイクル状況